



ごあいさつ

多摩養育園後援会 会長

波多野重雄

昨年来の新型コロナウイルス感染症の世界的な蔓延により、未曾有の危機に直面され日常生活に大きな影響を受けている皆様に、心よりお見舞いを申し上げます。

この間多摩養育園では、令和2年4月1日に新型コロナウイルス危機管理対策本部を設置し、「事業を止めない、福祉を止めない」という足利理事長の強い信念のもと、事業選択や事業変更等創意工夫をし、また、未来を展望し、各種事業を積極的に推進しております。

こうした法人の姿勢に対し、後援会としても会員の皆様のご理解、ご協力のもと、多摩養育園の事業協力や職員の福利厚生支援はもとより、将来の法人運営につながる取組みに対し従来通り賛助することといたしました。

そこで今年度は、多摩特養老人ホーム、養護老人ホーム竹の里の大規模改修事業への支援、及び社会福祉に関する資格取得費用の助成及び取得祝金の支給といった支援を実施いたします。

厳しい状況の中、役職員の皆様には、園児、ご利用者様、ご家族様等の視点に立った事業提供をお願いするとともに、心身の健全を維持されるようお祈り申し上げます。



社会福祉法人多摩養育園 理事長

足利正哲

令和2年1月に日本国内で初めて新型コロナウイルスの感染が確認されて以来、恐怖感も覚えるような大変な日々が続いております。この間、厳しい状況の中でご活躍されている会員の皆様に心から敬意を表するとともに、平素から変わりがなく多摩養育園にご支援を頂いていることに感謝申し上げます。

後援会の皆様には、今年度、2件の成人施設大規模改修への支援、職員の資格取得への支援等を事業決定して頂いたことに心からお礼申し上げます。

感染症の収束が見通せない中、こういう時こそ社会福祉法人の使命を再認識し、「福祉を止めない」と職員が一丸となり各種事業を推進してまいります。

今年度は、SDGsの理念に賛同し、誰一人取り残さない世界の構築のための行動を開始しております。また、福祉なんでも相談の実施により、住民に身近な拠点事業の充実を図ります。

法人として、次の世代へ安心した社会を引き継げるように、後援会の皆様、関係者の皆様のご協力のもと様々な挑戦をしていく所存です。今後とも宜しくお祈り申し上げます。



多摩養育園後援会役員会報告 令和3年4月21日

コロナ禍の中、2年振りの対面による役員会が開催されました。令和2年度事業報告・決算、令和3年度事業計画・予算が審議され、可決されました。主な項目としては、

- ①多摩特養老人ホームと養護老人ホーム竹の里の大規模改修事業（内示6月予定）へ800万円を支援。
 - ②人材育成支援金として、社会福祉に関する専門的資格の取得支援に、助成金及び取得祝金を支援。
- 久し振りの会談に、各方面からの情報交換がなされ、とても有意義な会になりました。



令和3年度多摩養育園後援会予算

項 目	予 算 額
多摩特養老人ホーム大規模修繕寄付金	5,000,000円
養護老人ホーム竹の里大規模修繕寄付金	3,000,000円
資格取得費用の助成及び取得祝金	500,000円

多摩養育園SDGsへの取り組み支援

SDGs、「誰一人取り残さない世界へ」をスローガンに、多摩養育園では、様々な活動に取り組んでおります。生活困窮者支援事業（就労支援・無料塾・子ども食堂）をはじめ、地域の大きな家としての活動を行っており、後援会として支援を行ってまいりましたが、引き続き支援を継続していきます。SDGsに掲げられている、17の世界目標と169の達成基準。それぞれが単独の目標ではなく、他の目標とも絡み合いながら、次の世代、子ども達のより良い未来の世界を達成、約束していくために、後援会が持つ力と多摩養育園の福祉の力を合わせ、実現していきたいと思っております。



福祉なんでも相談への協力



令和3年4月1日より、多摩養育園において、福祉なんでも相談を開始いたしました。地域で困ったこと、聞きにくい事、どこに相談したらよいのかわからないことなど、各施設にて「なんでも」相談を受け、解決のお手伝いをしていく活動となります。後援会としましても、この事業を多くの方に伝え、活動の支援を行えたらと考えております。

多摩養育園福祉まつり2020 11月15日 オンライン開催

令和2年11月 多摩養育園福祉まつり2020後援

コロナ禍の中、初のオンライン開催!! 通常開催は出来ませんでしたが、これまで歩んできた福祉まつりを振り返り、新たな未来へ希望をつなぐための福祉まつりとして、リモートとリーフレットで地域の皆様にお届けしました。後援会としても、つなげていく活動として、後援をいたしました。

第12回 多摩養育園
オンライン
福祉まつり2020
—コロナ禍こそ つなげよう 地域の笑顔—
皆様と歩んできた11年間分の福祉まつりを振り返り、リーフレットとオンラインでお楽しみいただけます!
動画配信開始 11/15 (日) 午前10時配信スタート 11/30 (月) 午後5時終了

意見交換

後援会役員の皆様のそれぞれの立場からの意見交換や情報交換などを行いました。

内	容
建築業界として、東日本被災地、宮城県東松島での復興につながる報告	
コロナ禍での薬局、医療業界のひっ迫した現状の報告	
各業界における外国人技能実習生の受け入れ状況報告	
「できない」ではなく、「できる方法を」考えなければいけない。	

全ての方のご意見を掲載することはできませんが、とても興味深いお話をお聞かせいただきありがとうございました。

光明八木町食堂

コロナ禍で子ども食堂の開催ができない中、令和3年3月より、お弁当配布をするということで、会員様にもご協力いただき、食材を寄付いたしました。今後も拠点の拡大を行い、配食を進めていくとのことで、多摩養育園と一緒に地域の方々への支援も行ってまいります。



卒業証書額縁贈呈

光明保育園卒業園児294名に額縁を贈りました！



多摩養育園福祉大使コーナー

多摩養育園では、様々な文化活動を行っている方を福祉大使に就任いただいております。八王子車人形五代目家元 西川古柳さん、八王子市出身の演歌歌手 伊達めぐみさん、市内在住のボーカルユニット UP LIFTさん、ギタリスト TOMOKOさん、後援会同様様々な多摩養育園の活動にご協力をいただいております。

そしてこのたび、元大本山總持寺典座であり、永昌院東堂であります、坪川民主老師を多摩養育園典座和尚に委嘱させて頂き、精進料理を通して食への感謝の気持ち、命の尊さ、礼節等のご指導をお願い申し上げます。



永昌院東堂 坪川民主老師



『車人形鑑賞』

当法人の後援会会員であり、八王子市の無形文化財である、

『八王子車人形』の家元、西川古柳氏が保育園に訪問

して子ども達へ車人形鑑賞会を実施。家元自ら子ども達の目線で車人形の魅力について伝え、実際に人形に触れる機会を頂きました。子ども達は真剣に演目を鑑賞したり、人形を操作することにワクワクと目を輝かせて体験したり興味津々の様子。幼児期に本物の伝統ある文化に触れる機会は本当に貴重であり、家元には、毎年、光明保育園の年長児が感謝の気持ちを込めてカレンダーを作成して贈っています。

多摩養育園より
お知らせ

令和3年度行事予定について

今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で光友会を含む全ての行事が未定となっております。後援会会員の皆様には予定が決まり次第ご案内いたします。

多摩養育園後援会

本会は社会福祉法人多摩養育園の法人事業、職員、施設の財政面・活動面で後援するとともに、社会福祉事業の一層の発展に寄与することを目的として、平成22年6月に設立されました。法人職員研修事業への助成をはじめ、多摩養育園の福利厚生団体である「光友会」への助成事業及び後援会会員の後援会行事参加助成等を通し、職員と会員の親睦をはかり、法人事業をより活性化すべく後援しております。つきましては、多摩養育園の更なる発展のため、本会の趣旨をご理解のうえ、是非ご入会頂き、法人事業を応援下さいますよう心よりお願い申し上げます。

個人会員 一口 2,000円

団体会員 一口 10,000円

〈申し込み・問い合わせ先〉

多摩養育園後援会 事務局

〒192-0055 八王子市八木町8-11(多摩養育園法人本部事務局内)

TEL 042-623-3388 FAX 042-623-3389



多摩養育園後援会ポロシャツ 販売中！！

購入希望の方は、事務局へお問い合わせください。

おそろいのポロシャツを着て
多摩養育園を支援しよう！
サイズ：M～3L 価格：2,300円

多摩養育園のFacebookとInstagramに法人各施設の様子などを掲載しています！



多摩養育園公式LINE



公式LINEの友達登録は、こちら



社会福祉法人多摩養育園



@tamayouikuen.official

